

## オペレーション契約（設置契約）について

- **どんな商売でも**  
成功するまでは大変なものです。このオペレーション契約も同様で、魔法の儲かる壺でも木でもありません。  
特に、他の商売と違って、機器を販売しないので、販売利益は有りません。  
マルチ商法の様な「ねずみ算」的な物もありません。  
設置されるコインロッカーや機器に投資するお金が必要ですから、回収は時間の掛かる物になります。その間の危険負担も当然大きな物になります。
- **危険負担はどう回避？**  
コインロッカーを購入しては儲からない場所への設置が主になります。  
つまり、コインロッカーを購入しては採算が合わない場所に多く設置されている事実をお考え下さい。  
理屈で考えると、商売になりません。また、自然災害や悪意の第三者による盗難など現在は危険がたくさん存在します。  
現在では、この契約方法で、比較的大規模なコンピュータシステムも契約しています。  
危険負担を回避するためキーポイントは、メーカーであるということと、多くの場所で行っているということです。（保険業に似ています。）
- **正確なマーケットができること。**  
闇雲に設置したのでは、危険負担が大きくなるだけで、メリットは有りません。  
長年の経験で、利用料金と利用率の関係、施設の規模と内容による集客の予想などを正確に行えることは、必要条件です。  
また、集客のための的確なアドバイスができることは、自社の収入にもつながる有利な条件です。

上記の要件を満たして始めて、オペレーション契約がメーカーとして可能になります。  
弊社の代理店様は、これらの業務の補助をして頂いております。